

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立中央小学校

校長 長崎 雅子

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

地域・保護者とともに協働できる学校にするために、様々な視点からの意見や考えを交流し合いながら、保護者や地域の方々の思いや願いが反映された学校づくりを推進します。

また、地域や保護者のみなさんと学校づくりビジョンを共有し、学校目標「豊かな心を持ち、生き生きと活動する子どもの育成」を目指し、「地域とともに歩む学校」の推進を図ります。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

○諏訪太鼓演奏



6年生は毎年地域の伝統芸能である諏訪太鼓保存会の方に太鼓指導をお願いし、音楽会にむけて練習をしてきました。地域協力者の熱心な指導が児童に伝わり、日を追うごとに気持ちと技術が向上していくのが分かりました。また、地域の育成会等で練習している児童が、初心者の児童に太鼓の叩き方を教えたり、練習方法をみんなで考えたりしていく中で、仲間との絆を深めることができました。発表会では中央小オリジナル法被を全員で着用し、連帯感を高めることができました。

○コミュニティスクールが運営する太鼓教室

今年度より、中央小学校コミュニティスクール運営協議会が主催となり、呼びかけ



に応じた児童に対し、太鼓教室を開催しました。また、夏の四日市祭りは、地域の太鼓に交じり、発表することができました。参加した児童が、「ずっとやってみたかった太鼓に触れることができてうれしい」「人前で演じることが自信になっ

た」と語るなど、大きな成果となりました。また、次年度に向けて太鼓教室に参加したいと思う児童・保護者も出てきました。

○鯨船、大入道の見学

4年生が、社会科の学習の一環で、四日市祭りの歴史や内容について、保存会の方に話を聞かせていただきました。鯨船が保管されている倉庫を見学させていただいたり、実際に乗船させていただいたりなど、貴重な体験をすることができました。また、校区内にある大入道について学ぶとともに、それが保管されている倉庫も見学させていただき、その仕組みや歴史について体験を通して理解することができました。地域に伝わる伝統芸能を大切に保存していきたいという保存会の方の思いにふれることができました。



○伝統芸能の体験活動

4年生が音楽科の学習の一環で、地元で古くから伝わる山車「菅公」について、地域の方から話を聞きました。「四日市祭り」の歴史や内容について、菅公を中心とした説明を受ける中で、伝統芸能について理解を深めることができました。



○昔の暮らし

3年生は社会科の学習の一環で、地域協力者から昔の暮らしについて話を聞かせていただきました。炭火アイロン、蚊帳、火鉢、陶器でできた枕や湯たんぽなどを見せていただき、使い方など詳しく説明していただきました。子どもたちは、自分たちが使っている道具との違いに驚き、実際に触ったり、使ったりしながら、当時の暮らしについて関心を持ち、詳しく学習することができました。



○地域と連携した防災教育

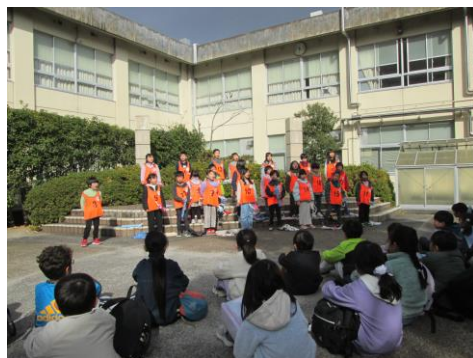
10月に、四日市市危機管理課の方にもご指導をいただき、地域・学校・保護者が協働した「防災学習」を実施しました。

3年生以上の児童が参加し、地域の方と一緒に、実際にバケツリレー体験をしました。その後は、体育館で、危機管理課の方が用意してくれた「簡易トイレ」「プライベートルーム」「簡易ベッド」について、使い方などを詳しくきいたり、実際に触らせていただいたりするなど、大変貴重な体験をすることができました。また、公開型GISについてもご紹介いただき、説明に食い入るように聴き入る児童や保護者、地域の方々の姿も印象的でした。公開型GISについては、学校HPや学校だよりで他の児童や保護者にも広げました。

○小規模校アシスト事業

きめ細やかな指導が行いやすい等、スケールメリットが多い小規模校ですが、一方では、児童数が少ないため、同学年で学習する活動に制限がかかることもあります。それらのデメリットをメリットとした教育として創造するため、市内で同規模の学校と対面やオンラインで全学年が交流授業を行いました。

どの学年も、すぐに他校の児童と打ち解け合い、自分たちの活動の成果を誇らしげに披露する姿が多くみられ、積極性や自己肯定感の育成につながっている部分も大きいと感じます。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

年間5回のコミュニティスクール運営協議会を開催する中で、様々な角度からご意見をいただき、教育活動に反映することができました。また、授業や行事の参観を通して、本校の教育活動全般についてご理解いただき、協議会の場では、たくさんの意見をいただくとともに、本校の教育活動をていねいに承認いただきました。

昨年度から継続して行った、コミュニティスクールを中心とした「地域と連携した防災教育」では、前述の通り、子どもたちを含む参加者の様子や振り返りから、大変有意義な活動となったと実感することができました。今後も継続したいと考えています。

学校評価アンケート項目の『保護者や地域の人々へ学習を公開したり、地域の人々に教えてもらったりする機会を設けている』（保護者）については、昨年度に引き続き92%の肯定的評価をいただきました。

3 今後に向けて

今年度も地域に根差す学校として多くの方々にご協力いただき、学習活動が充実したものとなりました。本校は、従来から地域と子ども、地域と学校というつながりが大変密接で地域ぐるみで子どもを育てていこうという気風が根強くあります。学校教育活動への支援、登校時の見守りなどの様々なところで地域と学校が協働する場があり、多くの地域の方にご協力をいただけてきました。また、コミュニティスクール運営協議会においても、子どもたちや学校の活動を肯定的にとらえた意見が活発に出るなど、地域ぐるみで校区の児童を育てる雰囲気が感じられました。

今後も、コミュニティスクールにおいて学校づくりビジョン等を共有し、学校と地域・保護者との結びつきを強くできるよう、地域の参画をめざした学校づくりを行っていきます。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立中央小学校

委員長 山脇 裕弥

校長 長崎 雅子

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回 運営協議会	・委嘱状手交 校長挨拶 ・委員長選出 ・「学校づくりビジョン」説明・承認 ・児童の様子について情報交換 ・年間活動計画の確認
5	第2回 運営協議会	・授業参観 ・児童の様子についての情報交換
7		
8		
9		
10	第3回 運営協議会	・地域との合同防災訓練
11	第4回 運営協議会	・授業参観 ・小規模アシスト事業に関して ・秋風音楽会参観および講評 ・教育活動前半の総括 (全国学力・学習状況調査等結果、今後の取組を含む) ・地域合同防災学習の振り返り ・児童の様子についての情報交換
12		
1	第5回 運営協議会	・授業参観および講評 ・「教育活動に関するアンケート」結果報告 ・「学校関係者評価」について ・児童の様子についての情報交換
2		
3		